

INVESTMENT
OPPORTUNITIES
IN KOREA

ICT(情報通信)



目次

1. 産業の動向・1

- 1.1 産業の現況・1
- 1.2 産業競争力・6
- 1.3 韓国の有望分野・9

2. 外国人直接投資の動向・12

- 2.1 外国人直接投資の現況・12
- 2.2 主要外資系企業の成功事例・12

3. 政策・立地・14

- 3.1 主要政策・インセンティブ・14
- 3.2 主要立地・18

4. 潜在的なパートナー・20

- 4.1 関連企業リスト・20
- 4.2 関連協議体・団体・23

* 本報告書上の数値はウォン（KRW）からドル（USD）に年度別の平均為替レートを基準で変換した。但し、年平均成長率を説明する場合、直近年度の平均為替レートで換算した。

* 換算した金額は四捨五入した上で表示したが、合計金額と一致しない場合、切り上げや切り捨てを適用した。



1 産業の動向

産業の定義・分類

- 通信機器産業) 通信サービスの収集、加工、保存、検索、受信およびその活用に関する機器の産業であり、具体的には有線通信機器と無線通信機器に分類される。
 - ・ 有線通信機器には有線電話、交換機、ネットワーク機器などがあり、無線通信機器は無線通信端末、無線通信システム、トランシーバーなどが含まれる。
 - ・ 現在の通信機器産業は、5G移動通信サービス向けの関連技術はもちろん、超高速・高品質の次世代移動通信システム、モバイル融合機器や部品へのニーズとともに発展している。
- 通信サービス産業) 有線通信サービスと無線通信サービスに分類され、電気通信事業法上の設備を保有しているかどうかや提供する通信役務の種類によって基幹通信、別定通信、付加通信に分類される。
 - ・ 4G移動通信サービスの商用化によってサービスの範囲が音声中心からデータまで拡大され、5Gの高度化によってスマートホーム、AI、自動運転などの様々なサービスが実現される見通しである。
 - ・ 当通信サービスの進化に伴って関連ネットワーク機器、端末、コンテンツなど多くの産業がともに成長し、5G時代においても初期段階は機器、部品が中心となり、中長期的には様々な融合サービスの活性化による付加価値を生み出すものと予想される。

1-1. 産業の現況

グローバル市場の動向

- 世界のICT市場は、2018年現在で3兆7,470億ドル規模となっており、2019年には前年比で1.1%増加した3兆7,900億ドルになる見通しである。
 - サーバ市場の単価低下によって、データセンターのシステムは2018年に比べかなり大きく減少するものと見られる。
 - 非クラウド製品群のクラウド化で、企業向けのソフトウェアがICTの成長を牽引すると予想される。
 - デバイスや通信サービスも先進市場の需要鈍化、交換期間の長期化などにより2018年に比べ市場規模は縮小すると見られているが、2020年には5G時代の幕開けによる成長が見込まれている。

世界ICT市場の現況・展望

区分	2018年	2019年	2020年	成長率（前年比） (単位：10億ドル、%)	
				2019年	2020年
デバイス	667	655	677	-1.9	3.5
データセンターシステム	210	204	207	-2.8	1.7
ソフトウェア（企業向け）	399	427	462	7.1	8.2
ITサービス	982	1,016	1,065	3.5	4.8
通信サービス	1,489	1,487	1,513	-0.1	1.7
総計	3,747	3,790	3,925	1.1	3.6

資料：Gartner（2019.4）



- 通信機器のうち、スマートフォン市場は3年連続のマイナス成長を見せているものの、新製品の発売で下落幅は鈍化するものと見られる。
 - 中国、米国、西ヨーロッパなど先進市場におけるスマートフォン需要の鈍化、交換期間の長期化、グローバル貿易をめぐる対立の深化などで2019年のスマートフォン出荷台数は1.9%減少した13.8億程度になると見られる。
 - * 世界市場におけるスマートフォン出荷の増減率（%、IDC）：（2017）-0.3→（2018）-4.3→（2019）-1.9→（2020）2.8→（2021）3.1
 - フォルダブルディスプレイ、5G通信対応スマートフォンなどの新製品に対する需要が本格化し、2020年からは2.8%の回復を見せると予測されている。
 - * スマートフォン市場における5Gスマートフォンの割合（%、IDC）：（2019）0.4→（2023）22.8

世界スマートフォン市場の現況



世界におけるスマートフォン出荷台数の予想

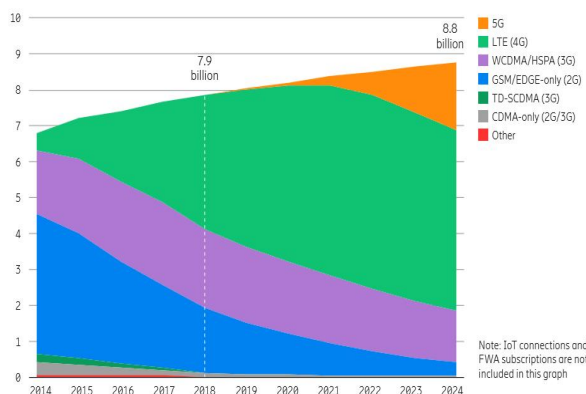


技術別スマートフォン出荷件数

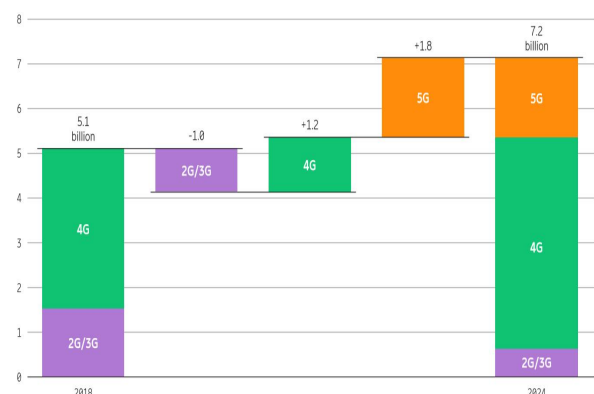
資料：IDC（2019.6）、IITP（2019.7）

- 世界の移動通信市場は着実に成長しており、2019年までは4G（LTE）が成長を牽引してきたが、2020年からは5Gが成長を牽引すると予想される。
 - 4G（LTE）加入件数は継続的に増加して2020年には53億件に達する見込みであり、5Gは2020年から本格的に活用されて2024年に登録件数19億件に達する見通しである。
 - スマートフォン加入件数は、2018年の51億件（3G、4Gの割合が99%）から2024年には7.2億件に増加すると予想される。

世界移動通信の現況



技術別モバイル加入件数



技術別スマートフォン加入件数

資料：Ericsson（2019.6）

韓国市場の現況

- 韓国の通信機器産業は、携帯電話の海外生産が拡大した影響で成長が鈍化している。
 - 2018年における通信機器の生産は、前年比1.6%減の375.1億ドルを記録した。
 - ベトナム、インドなど海外拠点の生産が拡大し、通信機器の国内生産や輸出の成長が鈍化した。
 - * スマートフォンの海外生産比率（%、IITP）：（2013）83.6→（2015）88.1→（2017）91.3→（2018.1Q）91.0
 - 携帯電話の部品においても、海外生産拠点の生産拡大により、コスト削減などを通じて競争力の確保を狙う部品メーカーの海外進出が増加している。
 - 2019年における通信機器の生産は、スマートフォン市場の成長や高価スマートフォンに対する価格負担、独創性の不足でフラッグシップ（主力製品）中心のスマートフォン市場が縮小すると予想される。
- 韓国の通信機器産業はスマートフォンなどの無線通信端末中心であるが、5G時代に新しく競争力を持つ分野として通信機器に注目し、育成するために努力している。
 - ハイパーコネクテッド時代への突入によって、増加するトラフィックを処理するための安定的なネットワークインフラが必要であり、韓国も関連分野におけるグローバル技術競争力の確保を通じて市場のニーズを先導している。
 - サムスン電子を筆頭に韓国内の中小・中堅企業の海外進出拡大など、韓国のネットワーク機器産業の飛躍が期待されている。
 - * サムスン電子におけるグローバル通信機器の市場シェア（%）：（2015）4.3（6位）→（2016）4.0（5位）→（2017）4.1（5位）→（2018）5.0（5位）
 - * 2018年第4四半期における5G機器の市場シェア（%、IHS）：（1位）エリクソン24、（2位）サムスン21、（3位）ノキア20、（4位）ファーウェイ17
 - 現在、移動通信機器の生産・輸出におけるサムスン電子の割合は50%以上であるが、DASANネットワーク、ソリッド、エーステクノロジーなど年間売上高1,000億ウォン（9.1千万ドル）以上の中堅企業も徐々に増加している。

韓国通信機器産業における生産の推移

（単位：10億ドル、%）

区分	2015年	2016年	2017年	2018年		増加率（前年比）	
					割合	2017年	2018年
通信機器全体	51.10	44.96	38.11	37.52	100.0	-15.2	-1.6
有線通信機器	2.33	2.21	2.18	2.15	5.7	-1.7	-1.1
固定電話	0.12	0.13	0.16	0.12	0.3	18.4	-22.6
交換機	0.08	0.06	0.08	0.08	0.2	23.7	0.2
ネットワーク機器	0.15	0.17	0.17	0.16	0.4	-0.1	-4.0
有線通信機器部品	0.59	0.62	0.63	0.64	1.7	1.2	2.0
無線通信機器	48.77	42.75	35.94	35.36	94.3	-15.9	-1.6
無線通信端末	44.19	37.95	31.11	30.55	81.4	-18.0	-1.8
携帯電話端末	42.74	36.45	29.71	29.15	77.7	-18.5	-1.9
（スマートフォン）	28.79	23.58	18.19	17.97	47.9	-22.9	-1.2
（携帯電話部品）	13.94	12.86	11.52	11.18	29.8	-10.4	-3.0
無線通信システム	2.18	1.66	1.67	1.68	4.5	0.7	0.4
無線通信機器部品	1.33	1.69	1.77	1.73	4.6	4.6	-1.8

資料：科学技術情報通信部、ICT主要品目の動向調査



- 韓国の通信サービス産業は、LTEサービスの商用化によってデータサービスの拡大が急激に進んでおり、5Gが商用化される2019年から通信サービスの売上高は再び増加すると予測されている。
 - 韓国の移動通信サービス市場規模は2018年に219.7億ドルで、通信サービス売上高全体の64.9%を占めている。
 - 最近のデータトラフィックやデバイス連動の爆発的な増加、放送と通信の融合、クラウド活用の増加などによって新たな通信技術に対するニーズが増えており、今後韓国の通信サービス市場はますます拡大する見通しである。

韓国通信サービス産業における売上高の推移

(単位：10億ドル、%)

区分	2015年	2016年	2017年	2018年		増加率（前年比）	
				割合		2017年	2018年
通信サービス	34.06	34.55	34.56	33.87	100.0	0.0	-2.0
有線通信サービス	9.69	9.65	9.62	9.42	27.8	-0.4	-2.1
無線通信サービス	22.40	22.88	22.95	22.44	66.3	0.3	-2.2
移動通信サービス	21.85	22.37	22.48	21.97	64.9	0.5	-2.3
通信再販売・仲介サービス	1.97	2.01	1.98	2.01	5.9	-1.2	1.4

資料：科学技術情報通信部、ICT主要品目の動向調査

- 韓国通信機器産業の輸出、輸入の場合も無線通信機器の携帯電話（完成品・部品）の影響が大きい。
 - 携帯電話は韓国の10大輸出品目の一つとして主要産業となっており、無線通信機器は2018年現在で韓国における輸出全体の約2.8%、輸入の約2.2%を占めている。
 - 新興市場普及率の拡大、交換サイクルの拡大、韓国メーカーの現地生産や部品の現地調達が増えたため、ここ2年間の通信機器全体の輸出は30%台に下落した。
 - かつては携帯電話完成品の生産が減少しても部品の輸出増加により、全体的な輸出額は一定規模を維持していたものの、部品メーカーがセットメーカーとともに海外に移転し、輸出が減少した。

韓国通信機器産業における輸出・輸入の推移

(単位：100万ドル)



資料：科学技術情報通信部、ICT主要品目の動向調査

韓国通信機器産業における品目別輸出の現況

(単位：100万ドル)

区分	2015年	2016年	2017年	2018年		増加率（前年比）	
					割合	2017年	2018年
通信機器全体	32,790	29,499	22,265	17,150	100.0	-24.5	-23.0
有線通信機器	668	733	815	959	5.6	11.1	17.6
固定電話	59	65	72	57	0.3	11.0	-20.7
交換機	4	2	5	5	0.0	98.1	0.2
ネットワーク機器	42	22	30	24	0.1	38.3	-20.1
有線通信機器部品	297	343	427	568	3.3	24.6	33.0
無線通信機器	32,122	28,765	21,450	16,191	94.4	-25.4	-24.5
無線通信端末	30,258	26,904	19,217	14,819	86.4	-28.6	-22.9
携帯電話端末	30,032	26,726	19,036	14,596	85.1	-28.8	-23.3
(スマートフォン)	10,378	8,157	6,972	6,121	35.7	-14.5	-12.2
(携帯電話部品)	19,653	18,569	12,064	8,475	49.4	-35.0	-29.7
無線通信システム	1,248	1,323	1,808	994	5.8	36.7	-45.0
無線通信機器部品	95	87	148	121	0.7	70.0	-18.2

資料：科学技術情報通信部、ICT輸出・輸入統計

韓国通信機器産業における品目別輸入の現況

(単位：100万ドル)

区分	2015年	2016年	2017年	2018年		増加率（前年比）	
					割合	2017年	2018年
通信機器全体	13,689	14,479	15,280	13,636	100.0	5.5	-10.8
有線通信機器	1,687	1,686	1,731	1,783	13.1	2.7	3.0
固定電話	120	103	104	102	0.7	0.9	-2.0
交換機	17	19	17	20	0.1	-13.4	22.3
ネットワーク機器	106	79	73	52	0.4	-7.4	-28.2
有線通信機器部品	672	672	660	668	4.9	-1.8	1.3
無線通信機器	12,002	12,792	13,549	11,853	86.9	5.9	-12.5
無線通信端末	10,379	11,081	11,999	10,105	74.1	8.3	-15.8
携帯電話端末	10,303	10,967	11,886	10,041	73.6	8.4	-15.5
(スマートフォン)	3,068	2,885	4,794	4,319	31.7	66.2	-9.9
(携帯電話部品)	7,235	8,082	7,092	5,721	42.0	-12.2	-19.3
無線通信システム	850	788	903	1,015	7.4	14.5	12.4
無線通信機器部品	394	390	247	264	1.9	-36.6	6.7

資料：科学技術情報通信部、ICT輸出・輸入統計



1.2 産業競争力

韓国におけるICT産業・通信機器産業の重要性

- 2011年以降、ICT産業は国内総生産の9%以上を占めており、2018年のICT関連GDP規模は約1,695億ドル（全体の10.3%）で韓国の経済成長に大きく貢献している。

ICTのGDP・成長率

(単位: 10億ドル, %)

区分		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
産業全体	GDP規模 (実質)	1,420	1,466	1,507	1,551	1,600	1,643
	成長率 (実質)	3.2	3.2	2.8	2.9	3.2	2.7
ICT産業	GDP規模 (実質)	132	137	139	151	156	169
	比重 (実質)	9.3	9.4	9.2	9.7	9.7	10.3
	成長率 (実質)	5.7	4.0	1.6	8.1	3.5	8.3

資料: 韓国銀行、国民経済計算

注: 1) ICTには製造業（半導体、ディスプレイ、部品、ワイヤー・ケーブル、放送通信機器、情報機器、精密機器）、放送、通信、SW開発・供給、コンピュータ関連サービス、情報サービスが含まれる。

2) 実質GDP（経済成長を把握）は、財貨とサービスの生産価値を基準とする年度の価格（不变価格）で計算する。

3) ICT産業の割合は、全体の産業でICT産業が占める割合である。

- ICT産業が韓国の設備投資に占める割合は約20%で、2018年の全体的な産業の設備投資は小幅に減少したのに対し、ICT関連の設備投資は4.1%に増加した。

ICT設備投資の規模・成長率

(単位: 10億ドル, %)

区分		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
産業全体	設備投資規模 (実質)	201	211	219	226	254	253
	成長率 (実質)	-0.4	4.8	3.8	3.2	12.4	-0.6
ICT産業	設備投資規模 (実質)	26	27	28	28	30	52
	比重 (実質)	21.3	21.1	21.0	20.1	19.5	20.4
	成長率 (実質)	1.4	3.8	3.3	-1.2	9.1	4.1

資料: 韓国銀行、国民経済計算

注: ICT部門の設備投資は、国民経済におけるICT設備・機器（コンピュータ、通信機器など）の設備投資の内訳を集計したものである。

- 通信機器および通信サービス産業は新技術や市場ニーズの変化に迅速に対応し、継続的かつ革新的な投資を通じて韓国のICT産業を牽引した。
 - 通信機器およびサービス業は国の経済を牽引する主力産業としてICT産業の9.7%に相当する雇用を生み出し、15.8%の付加価値を生み出した。
 - 通信機器産業はICT産業における総生産の9.3%、輸出の7.5%を占めており、通信サービス業は生産の8.0%を占めている。

韓国における通信機器産業の現況

区分	事業体数 (社)	総 従事者数 (人)	付加 価値 (億ドル)	生産 (億ドル)	貿易 (100万ドル)		
					輸出	輸入	貿易 収支
ICT産業	35,549 (100.0)	1,034,334 (100.0)	1,937 (100.0)	4,311 (100.0)	233,075 (100.0)	107,119 (100.0)	113,222 (100.0)
通信・放送機器業	960 (2.7)	58,669 (5.7)	128 (6.6)	402 (9.3)	17,576 (7.5)	13,914 (13.0)	3,662 (3.2)
有線通信機器業	214 (0.6)	7,714 (0.7)	7 (0.4)	-	959 (0.4)	1,783 (1.7)	-824 (-)
放送・無線通信機器業	746 (2.1)	50,955 (4.9)	120 (6.2)	-	16,617 (7.1)	12,131 (11.3)	4,486 (4.0)
通信サービス業	439 (1.2)	41,560 (4.0)	177 (9.2)	346 (8.0)	-	-	-
有線通信サービス業	150 (0.4)	26,453 (2.6)	-	96 (2.2)	-	-	-
無線通信サービス業	122 (0.3)	12,513 (1.2)	-	230 (5.3)	-	-	-
通信再販売業	167 (0.5)	2,594 (0.3)	-	20 (0.5)	-	-	-

資料：科学技術情報通信部、ICTの実態調査

注：1) 2017年（貿易は2018年）現在

2) 企業は従業員数10人以上の事業体（貿易を除く）、サービスは本社データを基準

3) () はICT産業に占める割合

世界における無線通信機器の生産・販売順位の変化

- 韓国の通信機器産業は、携帯電話完成品・部品の海外生産が持続的に増加しているにも関わらず、無線通信機器生産国のうち5位となっている。
- 韓国における無線通信機器の生産が世界総生産に占める割合は2016年の5%、2017年の4.6%、2018年の4.3%に低下したものの、常にTop5の生産国としてランクインしている。

世界における無線通信機器生産順位の変化

(単位：億ドル、%)

順位	2016年			2017年			2018年		
	国名	生産	割合	国名	生産	割合	国名	生産	割合
1位	中国	1,720	46.0	中国	1,780	46.3	中国	1,843	46.4
2位	米国	752	20.1	米国	772	20.1	米国	794	20.0
3位	ベトナム	266	7.1	ベトナム	255	6.6	ベトナム	268	6.8
4位	韓国	186	5.0	韓国	178	4.6	インド	175	4.4
5位	日本	121	3.2	インド	140	3.6	韓国	170	4.3
6位	インド	109	2.9	日本	115	3.0	日本	109	2.8
7位	フランス	98	2.6	フランス	102	2.7	フランス	105	2.6
8位	イギリス	60	1.6	イギリス	59	1.5	ブラジル	61	1.5
9位	ブラジル	52	1.4	ブラジル	59	1.5	イギリス	60	1.5
10位	台湾	46	1.2	台湾	45	1.2	台湾	42	1.0
	世界全体	3,740	-	世界全体	3,841	-	世界全体	3,970	-

資料：Reed Electronics Research、Year Book of World Electronics Data、各年度

- 世界のスマートフォン市場で、韓国は2011年に世界1位（販売数を基準に）を獲得して以来、これまで1位を維持している。
 - シェアは小幅に下落したものの、サムスン電子などの韓国メーカーがスマートフォン市場に与える影響は非常に大きい。
 - 5G、フォルダブルなどの新技術を採用したプレミアムスマートフォンを発売してイノベーションを先導するとともに、中・低価格スマートフォンのラインナップも引き続き強化してスマートフォンの販売においても引き続き1位を記録している。

世界スマートフォン市場におけるTop5メーカーの推移

(単位：％)

順位	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年第1四半期	
1	サムスン電子	22.8	サムスン電子	20.5	サムスン電子	20.9	サムスン電子	19.0	サムスン電子	19.2
2	アップル	16.2	アップル	14.4	アップル	14.0	アップル	13.4	ファーウェイ	15.7
3	ファーウェイ	7.4	ファーウェイ	8.9	ファーウェイ	9.8	ファーウェイ	13.0	アップル	11.9
4	レノボ	5.2	オッポ	5.7	オッポ	7.3	オッポ	7.6	オッポ	7.9
5	シャオミ	4.9	ヴィーヴォ	4.8	ヴィーヴォ	6.5	ヴィーヴォ	6.6	ヴィーヴォ	7.3

資料：Gartner

注：販売数基準

● 移動通信・ネットワーク技術のレベルと技術格差

- 韓国は平昌五輪の5Gサービスレビューや世界初の5G商用サービスなど世界最高レベルの移動通信サービスを提供しているが、通信モジュール・部品技術はそのほとんどを外国に依存している。
 - 情報通信企画評価院（韓国）によると、韓国のネットワーク技術力は相対的に低いものの、移動通信とネットワーク技術のレベルはいずれも前年比で4点以上上昇した。

* 韓国における技術レベルの分野別変化（点）：[移動通信]（2017）92.3→（2018）96.8（4.5↑）、[ネットワーク]（2017）81.1→（2018）85.9（4.8↑）

2018年の分野別技術レベル

区分	韓国	米国	日本	中国	欧州
移動通信	96.8	100	93.9	97.5	96.4
通信サービス	97.7	100	94.2	95.8	97.0
無線通信モジュール	94.9	100	93.9	98.9	98.7
通信モジュール・部品	97.8	100	93.6	97.9	93.5
ネットワーク	85.9	100	90.5	89.4	96.4
通信サービス	90.7	100	89.8	91.8	92.6
有線通信システム	87.8	100	93.4	93.4	93.4
通信モジュール・部品	79.2	100	88.3	82.8	85.5

資料：情報通信企画評価院、ICT技術水準調査報告書（2019.7）

注：100点満点を基準に

- 韓国の5G商用化技術をITU国際標準として最終提案するなど、5Gの国際標準化を先導した。
 - 国際電気通信連合（International Telecommunication Union、ITU）移動通信標準化会議で5G関連標準を計3回提案し、特に最終提案の時に世界で初めて公開した韓国の5G商用化技術を世界193カ国のITU加盟国にアピールした。（2019.7月）
 - 世界最高の5G国に飛躍するため、韓国の5G技術をITUの国際標準として採用することを推進している。
 - * 5G候補技術の評価・検証や標準案を作成し、5G国際標準案採択を最終的に決定する。（～2020.11月）

ICT分野の国際指数

- 世界経済フォーラム（WEF、ダボスフォーラム）では韓国を主なイノベーションの拠点として見なしており、ICT技術のレベルの高さや普及率に基づいてICT部門のグローバルリーダーとして評価された。
 - 韓国の技術成熟度は人口100人当たりの携帯電話加入者数、インターネットユーザーの割合の増加によって2018年に1位を記録した。

技術成熟度（Technological readiness）順位の推移

区分	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
韓国	18位	22位	25位	27位	28位	29位	1位

資料：WEF（The World Economic Forum）、The Global Competitiveness Report、各年度

注：1）超高速インターネットの現況、新技術の導入における積極性などについて評価

2）技術成熟度部門は、2018年からICTの採択で変更

- スイスの国際経営開発院（International Institute for Management Development、IMD）が発表した世界競争力評価において、韓国はIT関連指標で高い順位を記録し、競争優位性を確立している。
 - 技術インフラの順位は人口1,000人当たりのブロードバンド加入者数（5位）、GDP対比通信分野投資の割合（9位）など細部での評価においても上位を占め、昨年に比べ3位上昇した。

世界競争力評価のうち、技術インフラのランキング推移

区分	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
韓国	14位	11位	8位	13位	15位	17位	14位

資料：IMD、The IMD World Competitiveness Year Book、各年度

注：通信サービスの加入者数、料金、通信分野への投資など技術インフラ全体に対する評価

1.3 韓国の有望分野

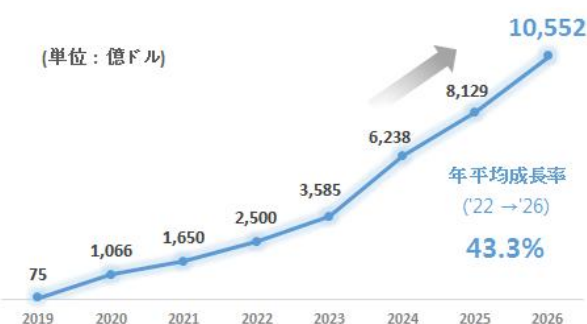
5G

- 5Gは転送速度の向上だけでなく、多数の機器の接続や超低遅延連動を目指しており、スマートフォンに限定されていた4G時代を超えて様々な産業分野、先端デバイスに幅広く採用される見通しである。
 - 5G変換によって移動通信と他の産業との融合が本格化し、自律走行車やスマート工場、ドローン、ヘルスケアなどの様々なB2B分野で5Gベースの高度化モデルを通じて新しいマーケットが生まれるものと予想される。

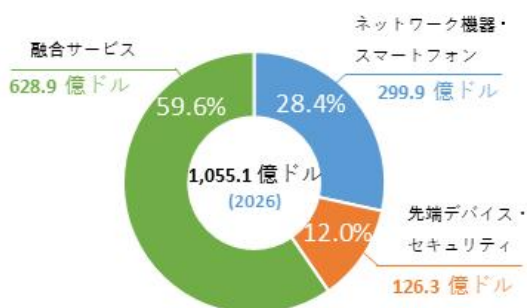


- 5Gは全ての産業分野に融合されるとともに、関連産業における相乗効果及び発展を促し、将来的に大規模な付加価値を生み出すものと期待されている。
 - ネットワーク機器や端末、先端デバイスセキュリティ、融合サービスなどの主な関連産業分野において、2026年には総1,161兆ウォン（9,980億ドル）規模の市場を生み出すことが予想される。

世界における5G市場の今後の展望



世界市場における年次別見込み



世界市場における分野別見込み

資料：5G+戦略、科学技術情報通信部（2019.6）

- 5G移動通信サービスの商用化によって端末メーカー、部品メーカー、通信事業者、コンテンツ業者などは新しい5G市場に対応するため心血を注いでいる。
 - 5Gの早期商用化は、世界的な競争の激化で苦戦している端末・機器産業の飛躍、融合サービス・デバイスにおける新しい市場の開拓など、グローバル市場で優位を占める機会を提供する。

スマートフォン

- 停滞したスマートフォン市場の新たな成長の原動力を確保するため、端末メーカーは新しいスマートフォン製品群として5Gを積極的に活用している。
 - グローバル5G商用化の日程に合わせて、ほとんどのスマートフォンメーカーは国内外の通信事業者と協力し、戦略的に5Gの初期市場を攻略しようとしている。

主要スマートフォンメーカーの5Gスマートフォン発売戦略

会社名	戦略
サムスン電子	- 世界初の5G対応「ギャラクシーS10」発売（2019年4月3日） 5G機能を利用できるプレミアムライン（「ギャラクシーS10」、「ギャラクシーノート10」（2019年8月）、「ギャラクシーフォールド」（2019年9月）と普及型5Gモデル（ギャラクシーA90（2019年9月）のツートラック戦略を駆使
LG電子	5Gスマートフォン「G8シンキュ（ThinQ）」（2019年3月）、「V50シンキュ」（2019年5月）発売 - IFA2019でV50シンキュの後続モデルである「V50Sシンキュ」（仮）の公開（2019年9月）
アップル	- クアルコムとの訴訟で5Gモデムチップの供給に支障が生じたため、「iPhone11」には5Gモデルが採用されない - 早ければ2020年上半期に、遅ければ下半期に5Gモデルが公開される見込み
ファーウェイ	「メイト20X5G」の公開（2019年7月）とフォールドブルスマートフォンである「メイトX」を発売（2019年9月）し、5Gを攻略 - 米国の制裁で、今後の方向性は不透明な状態

資料：各社広報資料、プレスリリース

- 多数のスマートフォンメーカーが5G市場に対応するための新型スマートフォンを準備しており、2019年下半年から5G中心のスマートフォン競争が激化すると見られる。

▶ ネットワーク機器

- かつての通信事業者のLTE投資縮小により売上の成長に限界を迎えていたネットワーク機器メーカーは、5G投資による売上の回復を期待している。
 - 5G関連技術の開発や業務協力を締結した機器メーカーの増加など、市場は全体的に回復の傾向を見せている。
 - 小型セル、中継機などのニーズの拡大により、中小企業をはじめとする韓国企業の成長可能性は高い。
- サムスン電子は5Gを未来の成長事業として選定し、関連チップセットや端末、機器などに大規模な投資を行う計画である。
 - サムスン電子ネットワーク事業部は、2020年までにグローバル市場シェアを20%まで増やすことを目指し、保有している多数の5G技術を採用しながらグローバル通信会社と協力して市場を拡大する計画である。

* サムスン電子、米国Verizonと5G固定無線アクセスサービス（FWA）通信機器の契約を締結（2019年1月）

▶ 5G移動通信サービス

- 韓国の主要キャリアは世界初の5G商用サービスを開始し、5Gのカバレッジを拡大している。
 - SKテレコム、KTはソウル首都圏と各広域市、LGユープラスはソウル首都圏、大田地域で人口密集地域を中心にサービスを開始する。
 - 2019年末までに全国85市の主要地域に基地局を構築し、年内に基地局装置23万個、人口対比93%のカバレッジを確保する計画である。
- 5Gサービスの普及に向けた安定的な通信サービスを提供するとともに、競争力のある料金プランを発表する必要がある。
 - 端末やカバレッジの拡大など、市場の状況を考慮して中・低価格料金制の拡大をなるべく早期に推進する計画である。
 - 5Gデータ完全無制限プランがLTEより安価に発売され（KT、80ドル→73ドル）、キャリア間の料金競争が本格化している。（SKT、LGU+もすべて無制限にて提供）

韓国における5G産業のSWOT分析

強み (Strength)	弱点 (Weakness)
- グローバル移動通信インフラ・端末大国 - 世界トップレベルを誇るICT製造業の競争力	- 競争国に比べて投資・内需市場が小さい - 機器・デバイス産業の競争力が弱い - サービス分野のグローバルな成功経験が不足
機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
- スマートフォンベースの世界初の5G商用化推進で、市場を先取りできる機会を提供する - 大規模な市場の初期段階	- 初期の収益モデル（キラーサービス）が不透明 - 中国発のグローバル競争が激化 - 5Gハイパーコネクテッド型の環境下ではサイバーセキュリティや通信災害の脅威・波及力が拡大

資料：5G+戦略、科学技術情報通信部（2019.6）

2 外国人直接投資の動向

2.1 外国人直接投資の現況

- 2018年現在、電気・電子産業の投資流入は13億5,443万ドル規模で、前年比10.3%減少した。
 - 韓国大手企業の協力や関連産業（素材、部品）の投資を通じてグローバルバリューチェーン完成型の投資が増加した。
- 2018年現在、情報通信産業の投資流入は31億2,399万ドルで、前年比135.6%も急増しており、投資誘致額全体の11.6%を占める。
 - 産業別ではゲーム、E-コマースや4次産業の主要分野であるクラウド、AI、5G投資が増加した。
 - * ゲーム（ブルーホール、4億ドル）、E-コマース（クバン、12.2億ドル）、クラウド（アマゾン、1.1億ドル）、データ管理（ラインプラス、1億ドル）、AI（ルニト、6百万ドル）、5G（チャイナモバイル、5百万ドル）
 - 今後5G、IoT、AI、クラウドなど4次産業関連投資は引き続き増加すると予想される。
 - * 5Gの場合国際標準化や応用技術、サービスの開発に向けて世界各国の通信会社や端末メーカーが韓国のキャリア3社と共同でコラボレーションを展開しており、関連する外国人投資も増加する見込みである。

通信機器・通信サービスにおける外国人直接投資の推移

(単位：件、百万ドル)

区分		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
電気・電子	件数	140	101	115	123	109	118	99
	金額	1,239	394	536	1,012	969	1,509	1,354
通信・放送機器製造業	件数	14	17	12	9	11	13	5
	金額	199	91	55	99	27	114	84
情報通信	件数	171	186	205	226	260	226	303
	金額	1,056	775	1,693	986	2,024	1,326	3,124
電気通信業	件数	4	5	3	8	5	3	3
	金額	33	16	18	22	73	3	7

資料：外国人直接投資統計、産業通商資源部

注：1) 「電気・電子」は電子部品、コンピュータ、通信・放送機器、映像・音響機器などの関連製造業を、「情報通信」は出版業、放送業、通信業、プログラミング・システム統合および管理業、情報サービス業などサービス業を含む

2) 業種別の投資件数は申告内容を基に作成

2.2 主要外資系企業の成功事例

ノキアソリューション&ネットワークスコリア

- ノキアソリューション&ネットワークスコリア（以下、NSNコリア）は2006年に設立されたネットワーク・通信機器メーカーであり、本社はフィンランドにある。
 - NSNコリアはソウルに位置しており、約186人の従業員を保有している中堅企業である。韓国のキャリア3社すべてに有線・無線ネットワークインフラソリューションを提供している。

- モバイルブロードバンド部門世界1位、世界初のLTE技術プレビューの成功など、グローバルネットワーク機器市場をリードしている。
 - 通信事業者に革新的な製品やサービスを提供し、モバイルブロードバンドや関連分野、次世代ネットワーク技術など将来に対し継続的に投資をすることで無線ネットワーク機器市場の強者として浮上している。
- 5G移動通信に合わせ、ネットワークインフラの仮想化やソリューションの提供に力を注いでいる。
 - FWAファーストマイル5Gゲートウェイの発売など、発展した5Gネットワークソリューションを提供しており、韓国でもキャリアとの協力を通じて5Gの高度化を牽引している。

国籍	親会社	韓国企業名	所在地	品目	従業員数
フィンランド	ノキア	ノキアのソリューション&ネットワークスコリア	ソウル	通信機器、システムなど	186人（2018年12月現在）

● エリクソン-LG

- エリクソン-LGは、2010年にスウェーデンの通信機器会社であるエリクソンと韓国の代表的なIT企業であるLG電子の共同出資で設立された。
 - 株式の75%をエリクソンが、25%をLG電子が所有しており、エリクソン-LGの本社や核心的な存在であるR&Dセンターはソウルにある。
- 大規模なR&Dを進めているエリクソンにとってR&D投資が活発な韓国は非常に魅力的な国であり、最適の投資先として評価されている。
 - エリクソンは韓国が優秀な人材やインフラを保有しているのはもちろん、R&Dにおいても優れた実績があるという点に注目しており、韓国の高いスマートフォン普及率などの環境や市場性も投資を決定した重要なポイントである。
 - 韓国の優れたR&Dインフラを活用すると同時に、優れた技術力を有する500人のエンジニアをソウルR&Dセンターに集め、技術開発に集中させた。
 - その結果45,000件以上の特許を出願・登録し、様々な製品やソリューションの開発、供給に成功した。
 - * 5G世代の核心技術である5Gプラグインの主要パーツをソウルのR&Dセンターで開発するなど、ソウルはエリクソンの5Gテストベッドソリューションの中核拠点となっている。
- スウェーデンのイノベーションと韓国の技術力を活かし、韓国における通信業界をリードしている。
 - 韓国初の商業用電子式電話交換機生産（1984年）、世界初のCDMA商用化（1995年）、VoLTE、LTE-Aなど世界初の全国網LTE構築（2013年）、SKテレコムと5G単独規格データ通信に成功（2019年）、韓国キャリア3社の5G通信機器インフラ構築（2019年）など、韓国の通信業界を先導している。
 - R&Dやキャリア、ソリューション社などパートナー社とのコラボレーションを通じて構築したサイクルをもとに、5G時代において韓国を含むグローバル通信機器市場でのトップを目指している。

国籍	親会社	韓国企業名	所在地	事業内容	従業員数
スウェーデン	エリクソン、LG	エリクソンLG	ソウル	有線・無線交換機器、伝送機器、通信システムなど	643人（2018年12月現在）



▶ チャイナモバイル・インターナショナルコリア（有）

- チャイナモバイル・インターナショナルコリア（有）は2015年に設立された無線通信メーカーで、本社は香港にある。
 - LTEネットワークモバイル交換網に向けた相互接続地点のような支社を拠点にするため、韓国に進出した。
 - * 相互接続地点：通信社間の相互接続地点で、ローミングサービスや相互通信を円滑にするために地域交換局や中心局、通信機器を対象国に直接設置した施設を意味する。
 - * チャイナモバイル、KT-NTTドコモ間の戦略的協力協議体であるSCFAを通じて異種間LTEデータローミングを商用化し、北東アジア地域で周波数に関わらず日中韓3カ国のローミングベルトを構築した。（2014年2月）
 - * SCFA（Strategic Cooperation Framework Agreement）：2011年に設立されたアジア最大規模の通信事業者間戦略協議体のことで、北東アジア3カ国を代表する通信会社であるKT、チャイナモバイル、NTTドコモが参加して技術、サービス、マーケティングなどのコラボレーションを展開しており、2022年1月まで活動する予定だ。
- チャイナモバイルの子会社（チャイナモバイル100%出資）で、国際ボイスローミングやIP接続サービス、クラウドサービスなどの国際業務を独占的に運営している。
 - 韓国支社を設立して、韓国通信会社とのネットワークやプラットフォーム事業などのB2B分野だけでなく韓国内の中国人、中国旅行を計画する韓国人向けの営業店などのサービスを同時に提供している。
- VoLTEローミングの商用化、次世代無線LANの自動ローミング、5Gサービス商用化に対する協力など、通信サービスにおける有望分野で着実にKTと協力するなど、韓国での移動通信事業を推進している。
 - チャイナモバイル-KT間の5Gローミングプレビューなど、両国間の5Gローミングを推進している。
 - * チャイナモバイルインターナショナル、SCFA総会でKTとIoT事業協力推進に向けたMOUを締結（2017年11月）
 - * チャイナモバイル、SCFA総会でKT-NTTと5G技術開発や実用化サービスに向けた協力を強化（2018年9月）
 - * チャイナモバイル、5G試験ネットワークを通じてKT 5G加入者専用サービスである「eスポーツライブ」視聴に成功（2019年5月）

国籍	親会社	韓国企業名	所在地	事業内容	従業員数
香港	チャイナモバイル インターナショナル	チャイナモバイル インターナショナルコリア（有）	ソウル	無線通信	12人 （2019年9月現在）

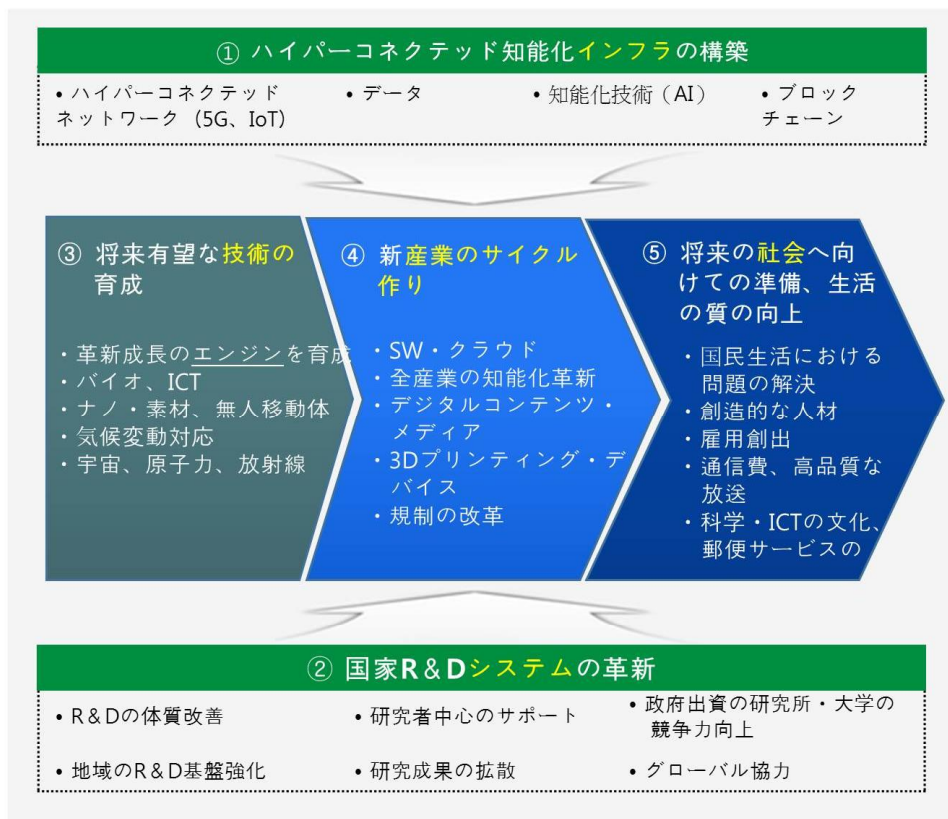
3 政策・立地

3.1 主要政策・インセンティブ

▶ I-KOREA 4.0

- 戦略目標）イノベーション成長、安全、包容をもとに人間中心の4次産業革命を実現するために戦略を立てる。
- 戦略課題）△ハイパーコネクテッド知能化インフラの構築△国家R&Dシステムの革新△国民生活の質の向上という3つの課題を立て、革新的成長を主導する。
 - （ハイパーコネクテッド知能化インフラの構築）5G世界初の商用化のみならず5Gの知能化を促進し、データを活用できるサイクルを構築して生活の質が向上する革新的な産業やサービスを生み出すような融合サービスを開発する。
 - （国家R&Dシステムの革新）国家R&D事業の統合・アジャスターで省庁間の垣根を越え、研究者中心のR&Dなど国家R&Dシステムの革新を図る。
 - （国民生活の質の向上）ネットワーク災害の防止、サイバー安全の確保など安全なICT・R&D環境を作って国民生活の問題を解決し、創造的な人材の育成を通じた雇用創出を支援する。

I-KOREA4.0の推進戦略・課題



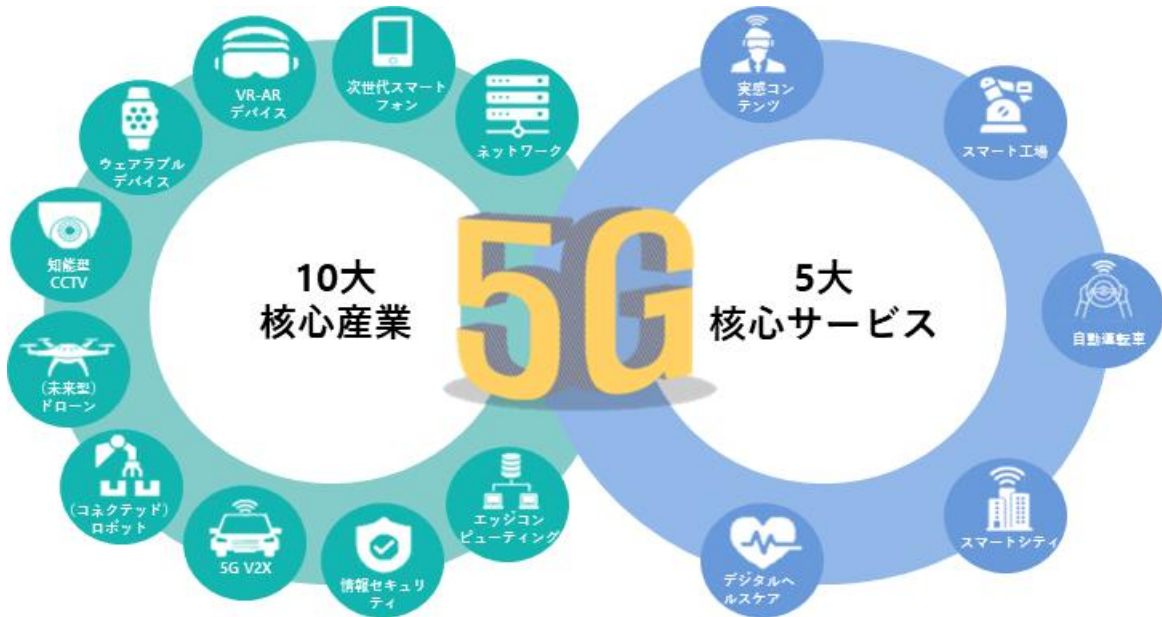
資料：科学技術とICTで切り開く人間中心の4次産業革命、科学技術情報通信部（2018年1月）

5G+戦略

- **背景** 韓国政府は5Gにおける関連産業への波及効果を最大化し、5Gベース新産業のグローバルリーダーシップの確保に向けて政府レベルの5Gプラス（5G+）戦略を立て、実施している。
 - 5G早期商用化の効果を最大化するために迅速に国家戦略を推進し、5Gベース新産業の育成や民間主導市場の活性化を推進する。
- **目標** 5Gベースの10大核心産業や5大核心サービスなどの戦略産業を育成し、2026年には世界市場におけるシェアが15%、60万人の雇用創出、730億ドルの輸出、生産額1,636億ドル達成を目指している。
- **推進戦略** 政府や公共部門にて先導的に5Gを導入・活用し、実証事業やモデル事業を実施して市場が急速に活性化できるように官民協力の体制を構築する。
 - 5G+革新サービスの実証 公共サービス・スマートシティへの5G導入など「公共先導投資」で初期市場を牽引する。
 - 5G税制・投資支援、5G試験・実証インフラの構築、コンテンツ・技術事業化など「民間投資の拡大」に向けた政府レベルの支援を強化する。
 - 5G料金体系の改善、安全な5G利用環境の構築、5G融合サービスの規制革新など「制度の整備」を通じて5Gサービスの活性化を支援する。
 - グローバル先導技術の確保、情報セキュリティ産業の競争力強化、創業促進や人材育成など「産業基盤作り」を通じてグローバル競争力を強化する。
 - 大手・中小企業の進出支援、5Gの国際標準化、国際協力による連携など「海外進出支援」を通じて5Gサービスのグローバル化を推進する。



5G+戦略の10大核心産業・5大核心サービス



資料：5G+戦略、科学技術情報通信部（2019.6）

5G+戦略の重要課題

重要課題	詳細	推進日程
1. 公共先導投資	1-1. 5G+核心サービスの実証・普及	実感コンテンツ、スマート工場、自動運転車、スマートシティの実証 2018～2021
		デジタルヘルスケア（救急医療システム）の実証 2018～2020
		5G+イノベーションプロジェクト推進 2021～2025
		5G+イノベーションセンターの構築 2021～
	1-2. 公共部門における需要の創出	5G+スマートSOCプロジェクト推進 2020～
		5Gベースのデジタルツイン適用 2020～
		5Gベースの安全な廃炉 2020～2023
		5Gベースの公共サービスロボットのモデル事業 2020～2023
		5Gドローン技術の開発・実証 2019～
	1-3. 公共サービス・スマートシティへの5G導入	5GベースCCTVの開発・テストサービス 2020～
		5G+ライフプロジェクトの推進 2021～
		5Gベースリアルタイム遠隔診断の導入 2020～
		現場中心の福祉行政・障害者介護の改善 2020～
		5Gベース知能型スマートシティ基盤の構築 2019～
2. 民間投資の拡大	2-1. 5G税制・投資支援	5Gスマートシティサービスの発掘・実証 2019～
		5Gネットワークへの投資・R&D税制支援 2019～
		既存の投資事業と連携 2019～
	2-2. 5G試験・実証インフラ構築	投資ファンドの組成 2019～
		5Gテストベッドの構築 （端末・ネットワーク機器・車両通信・ドローン・ 2019～

重要課題	詳細		推進日程
		エッジコンピューティング)	
		5G自動運転車・ドローンコンテストの開催	2019～
		松坂モバイルクラスターの構築	2020～2025
	2-3.5Gコンテンツ・技術の事業化	5Gコンテンツフラッグシッププロジェクトの推進	2019～
		5Gコンテンツ開発・グローバル化の拠点を構築	2019～
		ネットワーク機器R&Dの拡大・相互協力	2019～
		5G汎用モジュールの開発・拡散	2019～
		購入を条件としたR&Dの拡大	2019～
	2-4.主力産業の生産性革新	1,000の5G-ファクトリー構築支援	2020～2022
		5Gベースハイパーコネクテッドスマート造船所の構築	2020～2026
		スマート海軍港湾物流造船所の構築	2020～2026
		5Gベース縫製工場の構築	2020～
		再生可能エネルギーに最適な発電システムの実現	2020～2023
		製造分野に対するARサービスのテスト提供	2020～
3.制度の整備	3-1.通信料金・制度の整備	5G料金プランの改善	2019～
		通割制度の整備	2019～
	3-2.電波資源の拡充・規制の改善	5G周波数の供給拡大	2019～
		電波資源活用規制の改善	2019～
	3-3.安全な5G利用環境の構築	サイバーセキュリティ予防体系の確立	2019～
		ネットワークの安全性強化	2019～
	3-4.5G融合サービスの規制を革新	規制サンドボックス連携を通じた規制の改善	2019～
		実証と連携した規制の改善	2019～
		位置情報産業の規制緩和	2019～
	3-5.デジタル格差の解消・利用者の保護	知能高齢社会における情報アクセス保障の拡大	2019～
		脆弱背景のモバイル・知能サービス利用教育の強化	2019～
		5G時代における利用者の保護を強化	2019～
4.産業基盤作り	4-1.グローバル先導技術の確保	次世代デバイスの核心技術の開発	2019～
		未来市場への参入に向けた先導技術への投資	2020～
	4-2.情報セキュリティ産業の競争力強化	5Gセキュリティ先導技術の確保支援	2019～
		5G融合サービスセキュリティ産業の基盤造成	2019～
	4-3.5G+韓流基盤の構築	実感韓流コンテンツの技術開発支援を強化	2019～
		5G+韓流コンテンツやサービスの発掘・強化	2019～
	4-4.5G創業の促進・人材育成	5Gベースの新産業創業サイクル作り	2019～
		5G融合人材の育成システムを構築	2019～
5.海外進出支援	5-1.5Gサービスのグローバル化促進	大手・中小企業やグローバルパートナーシップの強化支援	2020～
		5G製品・サービスの発掘や世界的な普及	2019～
	5-2.グローバル5Gの標準化を先導	3GPP国際標準化に対応	2019～2020
		ITU国際標準化に対応	2019～2020
	5-3.国家間の協力と連携した海外進出支援	主要国進出・新市場の橋頭堡を確保	2019～
		ODA・国際交流を通じたグローバルリーダーシップの確保	2019～

資料：5G+戦略、科学技術情報通信部（2019.6）

3.2 主要立地

- 通信機器産業関連の立地の場合、スマートフォンは首都圏や大邱・慶尚北道を中心に、ネットワーク機器は首都圏を中心にクラスターが形成されている。

スマートフォン

- スマートフォン関連の主要生産拠点は、サムスン電子やLG電子などの大手企業の立地（首都圏（平沢）、大邱・慶尚北道（亀尾））に合わせて様々な部品メーカーがともに分布している。
 - 首都圏にはサムスン電子の半導体（器興、華城、平沢）、LG電子の携帯電話（平沢）、ディスプレイ（坡州）などの事業所があり、大邱・慶尚北道地域にはサムスン電子の携帯電話（亀尾）事業所を中心にした関連協力企業が亀尾などの慶尚北道地域や大邱に多数位置している。
 - コスト削減・効率的な市場攻略に向け、携帯電話の完成品を生産する大手セットメーカーは中国やベトナム、インドなど海外生産の割合を着実に拡大しており、部品協力会社の同伴進出も増加している。
 - * サムスン電子、亀尾（2018年現在で生産全体の4.5%）で一部のスマートフォン機種は生産するものの、生産ラインのほとんどは海外（2018年現在でベトナム44.9%、インド20.2%、中国20.2%）に移転
 - * LG電子、京畿道平沢のスマートフォン生産ラインをベトナムのハイフォンに統合移転（2019年末）

ネットワーク機器

- ネットワーク機器関連の生産拠点は首都圏（京畿道）に偏っており、そのような現象はサムスン電子ネットワーク事業部の生産移転によって今後さらに深刻化すると予想される。
 - 2017年現在で首都圏はエーステクノロジー、KMW、ソリッドなどほとんどの関連中堅・中小企業が、大邱・慶尚北道地域（亀尾）にはサムスン電子のネットワーク事業部が位置している。
 - 2018年末、サムスン電子亀尾事業所のネットワーク機器生産ラインを5G研究開発組織がある水原に移転し、スマートファクトリーを構築した。
 - 主要企業の移転によって、首都圏（京畿道）地域がネットワーク機器生産の中核地域として浮上している。

首都圏、大邱・慶尚北道における通信・放送機器事業体の数、生産額の割合

（単位：個、100万ドル）

区分	首都圏			大邱・慶尚北道	合計
	ソウル	京畿	仁川		
事業体数 (割合)	113 (11.8%)	495 (51.6%)	91 (9.5%)	93 (9.7%)	792 (82.5%)
生産額 (割合)	756 (1.9%)	12,170 (31.1%)	1,160 (3.0%)	22,051 (56.3%)	36,136 (92.3%)

資料：2018年ICT実態調査、科学技術情報通信部

注：全国における各地域の割合（2017年現在）

- 通信サービス産業の場合、移動通信ネットワークインフラのLTE全国化に続き、5G基地局の設置を加速化している。

移動通信5Gサービス

- キャリア3社の5Gサービスインフラ構築はソウル、京畿、仁川などの首都圏に集中している。
 - 首都圏に設置された5Gデバイス数は88,746個でデバイス全体の約60%を占めており、広域市にも多数の基地局が設置された。
- 2019年末まで全国85都市の人口密集地域を中心に5Gインフラをバランスよく構築し、5Gサービスのカバレッジが拡大される計画である。

地域別の5G機器の現況

(単位：個)

区分	首都圏			釜山	大邱	大田	光州	済州	その他
	ソウル	京畿	仁川						
機器数 (割合)	46,436 (31.3%)	33,945 (22.9%)	8,365 (5.6%)	8,637 (5.8%)	7,988 (5.4%)	7,215 (4.9%)	5,755 (3.9%)	1,564 (1.1%)	28,559 (19.2%)

資料：科学技術情報通信部（2019年6月21日現在）

- 全国各地に5Gクラスタを形成し、地域別の特化サービスを提供することによって5Gベースの区域・産業別の新たな付加価値を創り出す計画である。
 - 政府は5G機器の開発・実証サポートまで役割を拡大した「松坡モバイルクラスター」を構築（2020～2025）し、コリアVR・ARコンプレックス（上岩）の高度化や地域VR・AR制作拠点センターの拡大・改編などを通じて5Gコンテンツの開発拠点を構築する予定である。
 - SKテレコムは△サービス△主要商圏△B2B△季節など4大分野中心の5Gクラスタを形成し、5G移動通信サービスと地域の特色を組み合わせた。

* B2B分野は5Gファクトリー、スマート病院、スマート物流・流通、スマートシティ、メディア、公共安全、スマートオフィス、国防など8つのクラスタを形成する。

韓国ICTクラスタの現況





4 潜在的なパートナー

4.1 関連企業リスト

通信機器産業関連の主要企業リスト

企業名	主要品目	ウェブサイト	位置
サムスン電子	移動通信端末、コンピュータ、ネットワークシステム、半導体、ディスプレイパネル、家電、医療機器など	www.samsung.com/sec	京畿水原市
サムスンディスプレイ	液晶フラットパネルディスプレイ（LCD、OLED）など	www.samsungdisplay.com	京畿龍仁市
LG電子（株）	移動通信端末、交換機、伝送機器などの通信機器、テレビ、コンピュータなど	www.lge.com	ソウル永登浦区
LGディスプレイ	液晶表示機器など	www.lgdisplay.com	京畿安養市
LG化学	リチウムイオン二次電池、偏光板、PVCなど	www.lgchem.co.kr	ソウル永登浦区
サムスン電気	映像・音響、通信機器、モジュール、印刷回路基板、積層セラミックコンデンサ、高周波フィルタ、水晶発振器、チップインダクタ、デジタル衛星放送受信機など	www.samsungsem.com	京畿水原市
LGイノテック	LED、カメラモジュール、PCB、フォトマスク、モバイルルーターなど	www.lginnotek.com	ソウル中区
（株）パンテック	通信機器、無線通信応用機器、付加通信、監視用カメラなど	www.pantech.co.kr	ソウル瑞草区
エリクソン LG（株）	有線・無線交換機器、伝送機器、PBX、通信システム、電子交換機など	www.ericssonlg.co.kr	ソウル江南区
SKテレシス（株）	光中継器、有線・無線伝送機器、FEMTOなど	www.sktelesys.com	ソウル中区
（株）イレントек	バッテリーパック、PCB Ass'y、充電器、モーターなど	www.elentec.co.kr	京畿水原市
エスマック（株）	タッチスクリーン、タッチモジュール、モバイルモジュールなど	www.s-mac.co.kr	京畿平沢市
（株）メルパス	タッチコントローラICなど	www.melfas.com	京畿城南市
（株）パトロン	移動通信アンテナ、デュアルカメラなど	www.partron.co.kr	京畿華城市
インタプス（株）	ケース、アンテナなどの携帯端末部品	www.intops.co.kr	京畿安養市
ノキアソリューション& ネットワークス 코리아（株）	通信機器、通信システムなど	www.nokia.com	ソウル江南区
（株）DASANネットワーク	スイッチ、ルーター、スイッチ、サーバ、通信機器など	www.dasannetworks.com	京畿城南市
チャファ電子（株）	携帯バイブレーションモーター、電子管、マグネットなど	www.jahwa.co.kr	忠清北道清州市
（株）エーステクノロジー	端末用、基地局用アンテナ製造など	www.aceteq.co.kr	仁川延寿区
（株）KNW	有線・無線通信機器、移動通信部品、通信中継器、通信基地局用モジュールなど	www.knw.co.kr	京畿華城市
（株）ソリッド	携帯電話用コネクタ、通信機器の製造など	www.optimech.co.kr	京畿華城市
（株）ユービークウォス	移動通信用光中継器、光通信機器、無線通信機器など	www.solid.co.kr	京畿城南市
（株）ユービークウォス	スイッチ、FTTH、有線・無線ネットワークングソリューションなど	www.ubiquoss.com	京畿城南市
（株）カムシステム	携帯電話のカメラモジュール、半導体製造用機器など	www.cammsys.net	仁川延寿区
（株）エスコネック	携帯電話の内装・外装部品など	www.s-connect.co.kr	京畿広州市
（株）SJテック	無線通信機器（携帯電話の部品）など	www.sjtech87.co.kr	大邱達西区
UIL（株）	携帯電話用キーパッド、スイッチなど	www.e-uil.com	京畿坡州市
（株）RFテック	移動通信端末、充電器、電子部品など	www.rftech.co.kr	京畿龍仁市
（株）FRテック	移動通信用中継器など	www.frtek.co.kr	京畿安養市

企業名	主要品目	ウェブサイト	位置
(株) チャンウォンテック	スマートフォン、タブレットPCのブラケットなど	www.jangwontech.co.kr	慶尚北道亀尾市
ナノス (株)	携帯電話のカメラモジュール部品（光学フィルタ）、ホールセンサなど	www.nanosm.com	京畿華城市
(株) ナムガ	スマートフォンのカメラモジュール、通信機器など	www.namuga.co.kr	京畿城南市
(株) オプトロンテック	デュアルカメラ、光学部品、半導体素子など	www.optrontec.com	慶尚南道昌原市
(株) イノウェーブ	有線・無線光通信部品（光学薄膜フィルタ）など	www.inno-wave.co.kr	京畿烏山市
クルーシャルテック (株)	オプティカルトラックパッド、LEDフラッシュモジュールなど	www.crucialtec.com	京畿城南市
(株) ドリームテック	電子部品、Bluetooth、携帯電話用充電器など	www.idreamtech.co.kr	京畿城南市
(株) ギガレイン	RF通信部品、半導体機器など	www.gigalane.com	京畿華城市
(株) ワイソル	フィルタ、RFチップ、振動モータ、フィルタバンクなど	www.wisol.co.kr	京畿烏山市
エリクソンLGエンタープライズ (株)	電子交換機、IP電話、通信機器など	www.ericssonlg-enterprise.co.kr/	ソウル衿川区
(株) DASANネットワークソリューションズ	ネットワーク機器、バックホール機器、ソリューションなど	www.dasans.com	京畿城南市
(株) コメクス	ビデオ電話、アンプ、スピーカー、インターホン、ドアホン、交換機など	www.commax.com	京畿城南市
(株) マーキュリー	アクセス、交換機、ゲートウェイ機器、送信・衛星機器、ブロードバンドなど	www.mercury.co.kr	仁川西区
(株) テリット・ワイヤレスソリューションズ	無線通信機器、IoTモジュール、ソフトウェアなど	www.telit.com	ソウル永登浦区
(株) モベイス	携帯電話ケースなど	www.mobase.com	京畿華城市
(株) テュプラス	有線・無線通信機器、光通信機器など	www.dayouplus.co.kr	光州光山区
(株) ファインデジタル	ナビゲーション、ブラックボックス、移動通信機器など	www.finedigital.com	京畿城南市
(株) イルヤ	携帯電話の部品、金型など	www.ilya.co.kr	仁川南洞区
(株) ピープルワークス	移動通信用電力増幅器、リピータ、通信用部品・モジュールなど	www.peopleworks.co.kr	慶尚北道亀尾市
(株) HFR	リピータなどの無線アクセスRF機器、無線通信品質管理システム、光伝送システムなど	www.hfrnet.com	京畿城南市
コウエバー (株)	加入者系光端局機器、光伝送機器、有線通信機器など	www.coweaver.co.kr	ソウル江西区
(株) サムグァンウィントек	携帯電話ケースなど	www.samkwang.com	慶尚北道慶山市
サムジ電子 (株)	無線通信機器、無線検針システムチップなど	www.samji.com	京畿華城市
(株) イノワイヤレス	無線通信テストツールなど	www.innowireless.co.kr	京畿城南市
(株) AnTS	無線通信機器の製造、ソフトウェアなど	www.ants.co.kr	京畿安養市
(株) モイムストーン	インターネット電話、タブレット、ソフトウェアなど	www.moimstone.com	ソウル瑞草区
(株) インフォマーク	ウェアラブルデバイス、モバイルルータなど	www.infomark.co.kr	京畿城南市
サムファ通信工業 (株)	広帯域デジタル伝送機器、BDCS、WDCS、コネクタなど	www.samhwa.net	ソウル衿川区
(株) CS	超小型中継機、統合中継機、変波中継機、RF分散中継器、パーソナル中継器など	www.cs-holdings.co.kr	京畿城南市
アルティ電子 (株)	通信機器部品、半導体部品（LED）の製造	www.alti-e.co.kr	慶尚北道亀尾市
(株) ウリネット	光伝送機器、交換機器など	www.woori-net.com	京畿安養市
ソンウ電子 (株)	携帯電話の部品、無線通信機器の部品など	www.swei.co.kr	京畿安市
RFHIC (株)	ブロードバンド送受信部品（RFモジュール、RF部品、電力増幅機）など	www.rfhic.com	京畿安養市
(株) EMW	携帯電話端末のアンテナ、自動車のアンテナなど	www.emw.co.kr	仁川南洞区
(株) キサンテレコム	光モジュール、PCS中継機、WLLシステムなど	www.kisantel.co.kr	ソウル松坡区
(株) テレترون	スイッチ、ルータなどのネットワーク機器、超高速インター	www.teletron.co.kr	京畿安養市



企業名	主要品目	ウェブサイト	位置
	ネットのインフラシステムなど		
(株) ピーアンドテル	携帯電話ケースなど	www.pntel.co.kr	ソウル永登浦区
(株) フォーアンドティ	光通信部品、送信機器、データ送信機器、有線・無線通信機器など	www.fo-t.com	京畿軍浦市
(株) テレフィールド	超小型光伝送機器、ソフトウェアなど	www.telefield.com	京畿城南市
(株) テラウム	放送ネットワーク機器など	www.telaum.com	京畿富川市
ウィンテックシステム (株)	高速データ送信機器、光伝送機器など	www.wintek.co.kr	京畿義王市
オブティシス	光リンクモジュール部品、光半導体素子など	www.opticis.com	京畿城南市
(株) ウェーブエレクトロ	電力増幅機、移動通信中継機、RRHなど	www.wavetc.com	京畿水原市
カンマヌ	無線基地局アンテナ、中継機のアンテナなど	www.gammanu.com	京畿華城市
(株) OEソリューションズ	光トランシーバ（送信・受信用モジュール）など	www.oesolution.com	光州北区
(株) ライトロン	光加入者用光送信・受信モジュール、光部品など	www.lightron.co.kr	大田大徳区
(株) ウリロ	光スプリッタ、光ダイオードなど	www.wooriro.com	光州光山区
テハン光通信 (株)	光ファイバー、光ケーブルなど	www.tfo.co.kr	京畿安山市
(株) スカイムーンテクノロジー	無線電話中継器、通信資材など	www.skymoonstech.com	京畿安養市

▶ 移動通信サービス関連の主要企業リスト

企業名	主要品目	ウェブサイト	位置
SKテレコム	有線・無線通信業、移動通信サービス、IoTなど	www.sktelecom.com	ソウル中区
KT	有線・無線通信業、移動通信サービス、IoTなど	www.kt.co.kr	京畿城南市
LGU+	有線・無線通信業、移動通信サービス、IoTなど	www.uplus.co.kr	ソウル龍山区
マーチャンドコリア	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.mymvno.co.kr	ソウル衿川区
SKテリンク	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.skstelink.com	ソウル中区
(株) Tブロード	総合有線放送、VOD、格安フォンなど	www.tbroad.com	京畿水原市
エネックステレコム	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.annextele.com	ソウル江南区
コードモバイル	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.egmobile.co.kr	ソウル江南区
フリーテレコム	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.freet.co.kr	ソウル城東区
韓国ケーブルテレコム	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.kcttel.com	ソウル中区
CJハロー	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.cjhello.com	ソウル麻浦区
YLランド	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	ylland.net	京畿城南市
スマテル	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.smartel.co.kr	ソウル江南区
アイズビジョン	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.eyesvision.com	ソウル永登浦区
ユニコムズ	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.mobing.co.kr	京畿軍浦市
KTMモバイル	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.ktmobile.com	ソウル江南区
ドリームライン	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.dreamline.co.kr	ソウル九老区
CNコミュニケーション	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	okcnc.co.kr/	ソウル江南区
NRコミュニケーション	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.nrcom.com	京畿水原市
世宗テレコム	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.sejongtelecom.net	ソウル江東区
ウィナーズテル	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.idowell.co.kr	ソウル衿川区
メディアログ	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.medialog.co.kr	ソウル麻浦区
(株) クンサラム	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.ghs.co.kr	ソウル九老区
(株) インスコビー	仮想移動体通信事業（MVNOサービス）など	www.inscobe.com	ソウル衿川区

4.2 関連協議体・団体

通信機器産業関連の主要協議体・団体リスト

機関名	ウェブサイト	主な活動
韓国電子情報 通信産業振興会	www.gokea.org	- 特許紛争・環境規制・貿易規制など各種規制対応や制度の改善、FTAなどの国際通商懸案に対応 - IT統計調査・動向分析、国際標準化支援、専門人材の養成支援、韓国電子展（KES）の開催、海外マーケティング活動支援 - 将来新成長の原動力となる産業の育成基盤構築をサポート、政府の政策事業計画・実行、国内外関連機関との協力体制・ネットワークの構築など
韓国情報通信 産業協会	www.kait.or.kr	- 放送通信産業の成長に向けた政策支援、放送通信融合の促進・成長基盤の構築 - 放送ネットワーク高度化の推進や次世代インフラ構築支援、放送通信サービスの育成、利用者を保護する環境作り - IT統計調査・傾向分析など
情報通信産業 振興院	www.nipa.kr	- 情報通信産業の政策研究・政策の策定を支援 - 情報通信産業の育成・発展や専門人材養成などの基盤作り事業 - 情報通信産業の発展に向けた流通市場の活性化・マーケティング支援 - 情報通信技術の融合・活用に関する事業の推進 - 情報通信産業関連の国際交流・協力や海外進出支援など
情報通信企画 評価院	www.iitp.kr	- ICTR&D技術開発戦略・技術企画 - ICTR&D政策研究、情報調査分析・サービス - 情報通信技術開発事業協約の評価・支援 - ICTR&D成果の普及や技術移転、技術事業化の促進 - 情報通信専門人材の養成・研究基盤作りなど
韓国モバイル 産業振興協会	www.koreamobile.org	- モバイルベース産業体・環境の実態調査、地域インフラや施設の活性化支援 - 国内外のモデル事業発掘・推進、企業の育成、モバイルHW・SW・ソリューションの海外進出をサポート - モバイル融合技術開発・サービスロードマップの作成、専門人材の養成など
韓国モバイル業界連 合会	www.moiba.or.kr	- モバイル業界の交流活性化・政策開発 - スマートコンテンツ企業への支援・相互協力サポート - モバイルコンテンツ利用者の保護など
大邱テクノパークモ バイル融合センター	www.mtcc.or.kr	- モバイル融合新産業のグローバル競争力強化事業 - モバイル端末の国際規格適合性試験・認証（国際公認認証事業） - モバイル端末の研究開発事業、技術支援事業、マーケティング支援事業など
韓国知能型 IoT協会	www.kiot.or.kr	- IoT、5G、データ、AIなどの技術融合・事業協力支援 - 規制の改善、標準開発支援などの融合事業環境の改善や産業基盤の強化 - サービス拡散や市場の活性化に向けた広報・情報提供など
韓国スマートホーム 産業協会	www.kashi.or.kr	- 法制度の改善・標準化、知能型ホーム国家標準研究会の運営 - スマートホーム展示会、サービスの発掘などスマートホームサービスの利用を促進 - 産業統計指標の開発・統計調査などの調査研究 - 海外市場向けのモデル開発・市場多様化戦略の推進
韓国電子通信 研究院	www.etri.re.kr	- 情報、通信、電子、放送、成果関連融合・複合技術分野の産業基盤技術開発や普及など
韓国電子部品 研究院	www.keti.re.kr	- 部品素材、エネルギーディスプレイ、システム半導体、情報通信メディア、融合産業分野の技術開発研究・企業支援
情報通信政策 研究院	www.kisdi.re.kr	- ICT戦略、通信電波、未来融合、放送・電波政策の研究、ICT統計など



▶ 移動通信関連の主要協議体・団体リスト

機関名	ウェブサイト	主な活動
韓国情報通信技術協会	www.tta.or.kr	-ネットワーク、ICT融合、情報保護、SW、放送、電波・移動通信など国内ICT標準の制定・改定や普及 -ICT製品に対する国内外の試験認証・試験規格の開発 -ICT標準化・試験認証関連の国際協力活動 -ICT標準化・試験認証関連の専門人材を養成 -中小企業の競争力強化に向けた支援活動
韓国放送通信電波振興院	www.kca.kr	-番組制作支援などの放送コンテンツ・メディアの活性化 -無線局検査などを通じた無線ネットワークインフラの構築 -周波数分配、需給など電波情報の公開 -放送通信電波分野の国家技術資格検定人材の養成、教育など
韓国通信事業者連合会	www.ktoa.or.kr	-通信事業者の事業環境改善・権益強化に向けた政策や制度の改善 -国際協力・交流活動 -通信事業者間の協力・公正な競争体制の確立 -通信サービス利用者の報告活動 -ICT政策の調査研究・対外広報活動など
韓国MVNO協会	www.kmvno.or.kr	-国内MVNO市場の活性化に向けた政策・制度の改善 -MVNO関連政府の委託事業 -通信サービスの提供、国民の権益強化に向けた活動 -通信事業の発展方向に関する調査・研究事業 -通信産業関連団体・研究機関との業務提携や共同事業など



KOTRA 20-009

Investment Opportunities in Korea

ICT (情報通信)

発行所	KOTRA	作成	KOTRA投資広報チーム
発行日	2020年1月	協調	韓国電子情報通信産業振興会 安吉賢
電 話	(82-2) 1600-7119 (代表)		(www.gokea.org)
ホームページ	www.kotra.or.kr www.investkorea.org	ISBN	979-11-6490-151-7 (95320)

Copyright © 2020 by KOTRA. All rights reserved.